

授業科目 在宅看護学演習

【担当教員名】 丸山敬子 清水由美子 杉本洋 北村香織	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

在宅看護の役割は、「地域で療養する人とその家族の健康生活への援助」であり、「看護独自の機能を果たとともに、関係職種と協調していくこと」である。在宅看護の実践のために、在宅療養者の症状・状態の理解と必要な技術の習得、支援方法を理解する

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 在宅療養者の日常生活援助の基本的な方法を理解し、体験する
2. 在宅療養者の症状・状態を理解し、事例を通して援助の実際を追体験する
3. 在宅看護の方法を理解し、具体的方法を追体験する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	P B L 事例1 脳梗塞後遺症を持ちながら在宅で生活する人（女性、60歳代後半）	1, 2	PBL		
2	P B L 事例2 慢性閉塞性肺疾患で在宅酸素療法を行ないながら生活する人				
3	P B L (男性、70歳代)				
4	P B L				
5	P B L				
6	P B L				
7	P B L				
8	P B L				
9	訪問のマナー			1	講義 演習
10	訪問かばんの取り扱いとアネロイド血圧計による血圧測定			1	講義 演習
11	在宅療養者への日常生活援助			1	演習
12	日常生活用品を用いての在宅看護			3	講義 演習
13	日常生活用品を用いての在宅看護			3	演習
14	日常生活用品を用いての在宅看護			3	個人及びグループワーク

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新体系看護学 34 在宅看護論 (在宅看護学と共用)	村松静子	メヂカルフレンド社	2006 3,100円
参考書	適宜紹介する			
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

【評価方法】 授業参加状況(10%) 試験あるいはレポート(90%)	【履修上の留意点】
--	-----------

看護学
専門